

# 平成28年成人おめでとう



▲1月10日(日)、生涯学習センターにて成人式が開かれ、男性15人・女性9人の新成人が出席しました。振り袖や真新しいスーツ姿の新成人たちが同級生との久しぶりの再会を喜び合い、大人の仲間入りを果たしました。



12月24日・上士幌トランポリンクラブ『手作りブロックでバク転練習』

## 12・1月のまちのわだい

### 中学生11人が全道大会出場を報告

12月18日



卓球・ソフトテニス・スピードスケートの全道大会に出場する上士幌中学校の生徒11人が、馬場教育長へ出場報告を行いました。はじめに、卓球男子団体戦に出場する7人が「十勝の代表として恥じぬプレーをしたい」と意気込みを語りました。(①松岡奎人さん、②山崎大誠さん、③大野隆貴さん、④松岡紫苑さん、⑤根本優嗣さん、⑥泉田恭汰さん、⑦菅原楓さん) 次に、ソフトテニス女子ダブルスに出場する二人が「ヘアで力を合わせて全国に行けるよう頑張りたい」と話しました。(右から齊藤琴美さん、坂本鮎美さん) 最後に、スピードスケートの個人戦に出場する3人が「自分の納得のいく滑りをして、自己記録の更新、そして全国大会出場を目指したい」と力強く目標を語ってくれました。(右から湯田幸大さん、泉田恭汰さん、水野心さん)



### 上高卓球部が全道大会出場を報告

12月21日



⑥伊藤楓さん、⑦横澤亜美さん、⑧鳥切準基さん

北海道高等学校選抜卓球大会の女子団体戦および男子シングルスに出場する上士幌高校卓球部の生徒8人が、教育委員会を訪れ、大会への意気込みを語りました。部員たちは「チームワークを大切にして頑張りたい」「初めての団体戦全道大会出場に緊張するが、少しでもチームに貢献できるように頑張りたい」と、それぞれが持つ目標を語りました。(①榎田実佑さん、②濱口悠花さん、③根本愛優香さん、④佐々木亜美さん、⑤長瀬つかささん、⑥伊藤楓さん、⑦横澤亜美さん、⑧鳥切準基さん)

### クリーン開発株式会社が凍結路面での転倒防止のため、リサイクル乾燥砂500袋(計2トン)を昨年に引き続き町に寄贈されました。

12月22日



クリーン開発株式会社が凍結路面での転倒防止のため、リサイクル乾燥砂500袋(計2トン)を昨年に引き続き町に寄贈されました。この乾燥砂は一度利用された砂を豊岡の上士幌処分場で再生した製品です。今後、町では歩道や公共施設などに使用する予定です。

### 冬休み子ども料理教室

12月29日



ふれあいプラザで冬休み子ども料理教室が開催され、小学4～6年生の男女計15人が参加しました。今回は「日本食を見直そう」をテーマに、混ぜごはん、茶わん蒸し、みそ汁、おしるこの4種類の料理に挑戦しました。子どもたちは3つのグループに分かれ、おしるこの団子をこねたり、混ぜごはんの具をフライパンで炒めたりと、友だち同士協力し合いながら料理を完成させました。

### 平成28年新年交礼会

1月6日



山村開発センターにて新年交礼会が開催されました。町内各団体の関係者ら118人が出席し、新年の門出を祝いました。年頭のあいさつにおいて、竹中町長は「昨年、本町では人口減少対策と地方創生の実現のため、地方版総合戦略を策定しました。今年はその実行に移す年となります。人口減少の食い止めと本町の持続可能な発展のためには、町一丸となって取り組む必要があります。みなさんのご協力をよろしくお願いします」と結束を呼びかけました。



### 上士幌消防団出初式

1月5日(火)、上士幌消防団(片寄繁之団長)による新年恒例の出初式が行われました。団員たちは上士幌神社で安全祈願をした後、市街地で車両パレードと分列行進を行いました。パレード終了後、山村開発センターにて式典が開催され、消防団活動に功績のあった団員に対して表彰状が贈られたほか、かみしほろ幼年消防クラブ(こども園年長園児)による「防火宣言」などが行われました。

「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。企画財政課情報交流担当 ☎2-4290 または E-Mail ☎ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。

### 中学生がスキートの全道大会出場を報告

1月12日



第48回北海道中学校スキー大会(1月14日～16日・旭川市)の女子ジャイアントスラロームに出場する上士幌中学校2年の前田紫帆さんが教育委員会を訪れ、馬場教育長に大会への意気込みを語りました。前田さんは「これまで主にスキーの技術を競う大会に出ていたため、アルペンスキーの全道大会は初出場に緊張するが、一生懸命頑張りたい」と話しました。

### 役場の新人紹介 (地域おこし協力隊員)

～よろしくお願ひします!～



- ①坂口 香奈代(32歳)
- ②社会教育推進員 (生涯学習課)
- ③宮崎県

毎日を元気に楽しみながら、苦しいことも、笑顔に変えていける生活を一緒に作りたく思います! よろしくお願ひいたします。

①氏名(年齢) ②担当課 ③出身地



# 町民(文)芸

## 川柳

書初めの墨たっぷりと筆走る  
お笑いのテレビばかりで寝正月  
母もどる台所にも音もどる  
バルーンフェス冬を彩る上士幌  
何をしてもなく結局寝正月  
ありがとう込める想いに迷うチョコ  
かあさんのプレミアムアイスおいしいな  
バレンタイン女同士で火花散る  
北国でふれた人情あたたかい  
あれあれと思うまもなく再軍備  
よく笑いよく食べるにんげんらしく生き

## 短歌

凝りてゐる体癒さんモール泉浸れば優し肌染みゆく  
新雪を分けて帰りし昼下り地震はふいに訪れたりき  
初春の息子らの家族と迎へりて勞りくれば九十一歳の幸  
初売に家計簿と日記帳求めり帰りに息子らと回転ずしに憩う  
カレンダーにまだ巻き癖の残るるて松の二日を予は帰りたり  
ともすれば肺に混入しやきを老いては食にこころ配りぬ

白桜丹米高小米鈴小藪坂  
石後森木池森木松根田  
花昭真誠由博義いさ子  
馨絵次弓也子樹豊美守子

本高石  
間木川  
栗慶裕  
風子子

編集後記  
☞おかげさまで、今年度も全国各地のみなさまから多くのふるさと納税(寄付)をいただいています。☞こうした寄付者との交流を深め、より一層上士幌町の魅力をお伝えしようと、1月の24日と30日に大阪・東京で交流イベントを開催します。来月号にイベントの開催報告を掲載予定です。ぜひご覧ください。・・・S  
☞男性のみなさん、料理はしますか？近頃は、料理のできる男性は“カッコイイ”とされる時代です。お昼ご飯に、自分で手作りした弁当を持参する『弁当男子』なるひとたちも増えているようです。健康志向や食費の節約、奥さまや家族へのサービスとしても…女性のみなさん、料理上手な男性ってどうですか？・・・K

広報 **かみしほろ** 3月号は 2月25日(木) 発行予定

## 地域を変えてく新しいカ 地域おこし協力隊活動報告

TITLE: スポーツで上士幌を豊かにする! 記: スポーツ指導専門員 前田 圭一郎



昨年11月より、教育委員会生涯学習課社会体育担当で働かせていただいております前田圭一郎と申します。私は千葉県出身で、30年間ずっと関東で暮らし、サッカー、フットサル、バスケットボールなど、さまざまなスポーツをしてきました。

その中で、身体的な効果以外にも精神的な効果であったり、道徳教育や人間関係構築など、他にも多くの計り知れない「スポーツの力」を感じてきました。その「スポーツの力」で、地域を元気にし、日本を豊かにすることが私の夢です。

さて、スポーツ経験には自信のあった私ですが、上士幌に来てから、それまで経験したことの無いスポーツとたくさん出会いました。例えば、ミニバレー。何度か練習に参加させていただき、審判方法も教えていただきました。11月末に開催した町民スポーツ祭では審判も務めました。また、北海道といえばウィンタースポーツということで、ぬかびら源泉郷スキー場で行われたスキー大会の旗門係を経験させていただきました。

寒い日が続きますが、スキーやスケートなど、冬を満喫できるスポーツが上士幌にはあります。スポーツを通して、町民のみなさんと一緒に冬を楽しみたいと思います。



▲町民スポーツ祭ミニバレー大会



▲FISスキー大会

## 上士幌高校新聞局 通信 月刊 上高



▲練習に励むサッカー部

昨年、上士幌高校にサッカー部が設立されました。

サッカー部の顧問である坂口英樹先生は「平日は放課後から普通のトレーニングをしているのですが、人数が少ないので他の部活に協力してもらいながら練習を行っています。休日になると足寄や本別と合同練習をしています」とサッカー部の活動について話してくれました。

また、サッカー部の目標について「設立されて間もないために、人数が少ないなど大変なことがあります。だからこそ、サッカー部員には自信を持って、自分が考えている限界を超えて欲しいと思っています。実際、部員たちが自分たちの殻を破ってプレーをした瞬間を大会の試合中に目撃しました。相手が強いとかで決めつけないで最後まで諦めず試合に臨んでいました」と真剣な表情で熱く語ってくれました。

最後に坂口先生は「サッカーはお年寄りが行っても面白いスポーツです。若者が行ったらもっと面白いスポーツです」とサッカーの楽しさを笑顔で話してくれました。

## サッカー部新たに設立

文責 早坂 柊咲

平成27年 12月末現在の人口

男性	2,371人(±0人)
女性	2,515人(-2人)
人口	4,886人(-2人)
世帯数	2,397世帯(±0世帯)

寄付  
▶12月22日、帯広市の株式会社安井測量設計事務所(安井塔基社長)が、町の振興のため、10万円を寄付されました。

平成27年度 ふるさと納税寄付金

12月分	14,345件
	307,074,943円
累計	57,834件
	1,170,052,325円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。

- 上士幌町民憲章
- 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
  - おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
  - きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
  - 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
  - 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。